

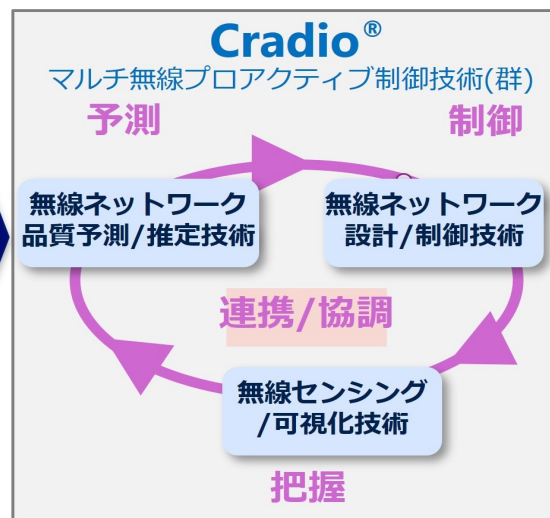
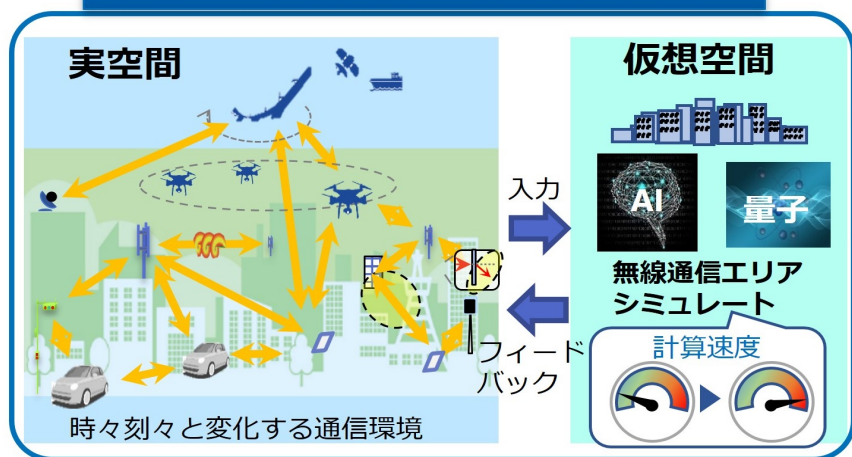
背景

IOWNによって実現される高速大容量なネットワークサービスをユーザの端末まで届けるには複数の無線アクセスをうまく組み合わせた運用が必要です。特に移動し続ける端末や時々刻々と変化する環境の中ではサービスをつなぎ続けるために高速な無線環境の演算が重要です。

成果の概要

マルチ無線プロアクティブ制御技術 Cradio®は無線アクセスの把握・予測・制御の3つの領域の技術を組み合わせた技術群です。量子アニーリングマシンを活用した演算を取り入れることで、広いエリアに移動する端末が複数存在する場合でも高速に制御できます。

超高速演算による時変動追従性向上



技術のポイント

- マルチ無線プロアクティブ制御技術 Cradio®により複数の周波数帯・マルチ無線アクセスを柔軟に運用・活用することが可能
- エリア内に複数存在する移動端末や複雑な無線環境でのマルチ無線アクセス制御は、サイバー空間内における無線環境の予測・推定により高速に追従
- 多様な無線環境の予測・推定を、量子コンピューティングなどの効率的・高速な演算を適応することで、リアルタイムに実現

この研究がもたらす未来

複数の無線アクセスを柔軟に取り入れ高速な環境追従が可能になることで、リアルタイムかつ多様なシナリオでのDX活用によるスマートな社会を実現できます。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com